

校長メッセージ（3月）

水戸桜ノ牧高等学校常北校長

野内 俊明

**<厳粛な中にも心暖まる卒業式に感激，伝統はこのようにして
継続されていくのでしょう！>**

3月2日（月），前日とは異なり春めいた天気にも恵まれ，来賓や保護者・教職員の見守る中，常北校として2回目の卒業式が厳粛，かつ，和やかに行われました。卒業生一人一人に手渡された卒業証書，3年間を振り返った答辞や心のこもった保護者謝辞等に一同が感動しました。

<校長式辞から>

卒業生の皆さんは，いよいよ4月から，進学・就職とそれぞれ進む道は違いますが，これからは，それぞれに与えられた場で生きるために，自らの力で一つ一つの体験を重ねながら，社会生活の術を学んでいかなければなりません。そのためには，まず1日の目標・計画を立て，それを実行する地道な実践力が必要です。

「明日あると思うな，今日のことは今日実践せよ」皆さんも知っていると思います。先延ばしをせず，今日のことは今日の内にやりとげるといふ心がまえです。

「木を見て，森を見ず」という格言のごとく，目先のことばかりに気をとられていたのでは，大きなものは見えてきません。大きな森を見て，そして，林を見ての計画が必要です。そして，その計画・目標に向けての日々の実践・努力が大切だと思います。

卒業生の皆さんには，自分で考え，判断し，そして，それを実行する「自立の精神」を是非身に付けて，今後進むべくそれぞれの社会において，大きく活躍してくれることを願っています。



（卒業式後の玄関にて）

